

Map 4 地質

地質図は、いつの時代の、どのような種類の岩石や地層があり、どのように分布しているのかを表わした地図です。

奄美大島(加計呂麻島・請島・与路島を含む)は、主に新生代古第三期より古い時代の付加体から構成されており、プレートが潜り込む琉球海溝と並行に付加体が縞模様になっていることが分かります。徳之島は、奄美大島と同様の付加体に加え、北部には新生代古第三期の火成岩が、南西部には新生代第四期の石灰岩(隆起サンゴ礁)が多いことが分かります。喜界島、沖永良部島、与論島では、いずれも島の大半が新生代第四期の石灰岩(隆起サンゴ礁)に覆われていますが、沖永良部島では、標高が高い箇所を中心に新生代古第三期より古い時代の付加体や火成岩が露出していることが分かります。

種類	概要
堆積岩	れき・砂・泥・火山碎屑物(かざんさいせつぶつ)・生物の遺がいなどが流水や風の作用などで堆積して固まってできた岩石のグループ。
付加体	海洋プレートが海溝などに沈み込むとき、海底の堆積物がはぎとられ、陸側に押し付けられてできる構造体。日本列島の多くの部分は付加体からなるとされています。
火成岩	マグマが冷えて固まってできた岩石のグループ。

一	グループ	地質(岩石・岩相)	形成年代(地質時代)
	堆積岩	谷底平野・山間盆地・河川・海岸平野堆積物 自然堤防堆積物 海岸・砂丘堆積物 段丘堆積物 非海成層 海成層 海成層 磐岩 海成層 砂岩泥岩互層 海成層 泥岩 海成層 灰岩 混在岩 付加体 チャート 付加体 海成層 砂岩付加体 混在岩 付加体 チャート 付加体 海成層 灰岩付加体 玄武岩 海洋付加体 海成層 砂岩付加体 砂がち砂岩泥岩互層付加体 泥がち砂岩泥岩互層付加体 海成層 泥岩付加体 混在岩 付加体 デイサイト・流紋岩・粗面岩 海洋付加体 多色泥岩付加体 チャート付加体 海成層 灰岩付加体 玄武岩 海洋付加体 海成層 砂岩付加体 砂がち砂岩泥岩互層付加体 海成層 泥岩付加体 デイサイト・流紋岩・粗面岩 海洋付加体 多色泥岩付加体 玄武岩 海洋付加体 海成層 砂岩付加体 砂がち砂岩泥岩互層付加体 海成層 泥岩付加体	新生代 第四紀 完新世
	付加体	安山岩・玄武質安山岩 溶岩・火碎岩 超苦鉄質岩類 島弧・大陸 閃緑岩・石英閃緑岩 島弧・大陸 花崗閃綠岩・トーナル岩 塊状 島弧・大陸 花崗岩 塊状 島弧・大陸	新生代 第四紀 完新世 中生代 後期白堊紀 新生代 古第三紀
	火成岩	盛り土・埋立地・干拓地	新生代 第四紀

【出典】・地質図 「20万分の1日本シームレス地質図V2(地質図更新日:2022年3月11日)」(産総研地質調査総合センター)(<https://pbank.gsj.jp/seamless/use.html>)を加工して作成
・市町村界 「国土数値情報(行政区域データ)」(国土交通省)(https://nftp.mlit.go.jp/kjs/gml/datalist/KsjTmpl-N03-v3_1.html#prefecture46)
・陰影 基盤地図情報数値標高モデル 10mメッシュ(標高)より作成
・背景図 地理院タイル(淡色地図)

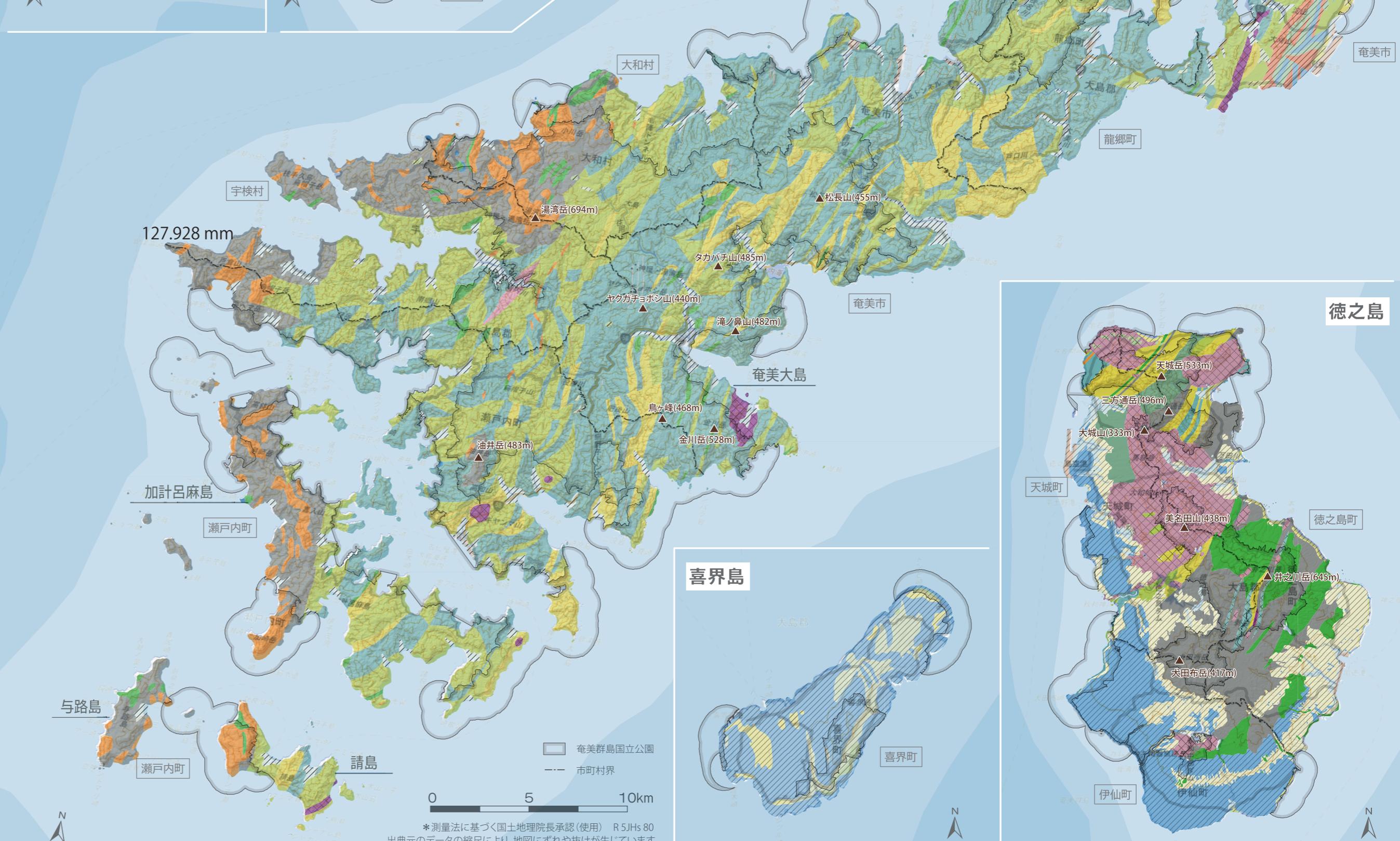
与論島



沖永良部島



奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島



索引図